

クローズアップ マイタウンJOTO



資料提供:大阪府



大広場:「空」(くう) 会場内の5か所に「空」(くう)と呼ばれる大広場を設置。AR(拡張現実)・MR(複合現実)技術を活用した展示やイベントなどを行い、来場者の交流の場とする。

資料提供:経済産業省

EXPO 1970 「人類の進歩と調和」からの EXPO 2025 「いのち輝く未来社会のデザイン」

1970年大阪万博の体験談!!

1970年万博体験談

好奇心旺盛な気持ちが行動力に

当時通っていた専門学校の「エキスポメイト募集」の告知をみてすぐに応募しました。1970年1月から、コンパニオンとしての基本的なマナー、外国のお客さまの案内をする基本的な英会話などの研修を受け



殿川 知子さま

ました。

パビリオンの一番人気は、アポロ12号が持ち帰った「月の石」を展示していたアメリカ館でした。北欧のスカンジナビア館でのバイキング料理や閉館後に行われた、異国の方たちとの交流など、開催期間中は私にとっては全てがカルチャーショックでした。勇気を出して応募してよかったです。



当時のコンパニオンの制服をスタッフが着てみました。

1970年万博体験談

大阪万博でめぐりあった幸せな青春の1ページ

学生時代にアメリカのパビリオンのコンパニオン募集記事を見て応募しました。各国のパビリオンにもよく通い、たくさんの人たちとお友だちになりました。人とのつながりもいろんなことが勉強になり、開催期間中の半年間は夢のような体験をし、人生にも影響しました。



倉本 美津子さま

1970年万博体験談

昔は娘を抱いて、今度はこどもや孫に手を引かれ

1970年は娘の生まれた年で、ミルクとお湯を持ち3歳になる息子の手を引き、親子四人でたくさんのパビリオンを観てまわりました。2025年の万博はこどもや孫たちに手を引かれて行ってみたいと思います。そのためにも足腰を鍛えて、元気で頑張りたいと思う今日この頃です。

嶋田 敏子さま

5月に体験談を募集した結果、たくさんのご応募をいただき、ありがとうございました。1970年の大阪万博を体験された皆さんは「2025年に大阪で万博が開催されるなら、どんな形でもいいのでぜひ開催に携わって、貴重な体験をしてほしいです。」とおっしゃっていました。時代は違いますが、異国間の交流や身近では体験できないことを一人でも多くの方に経験していただきたいと思います。



1970年当時の入場券

「いのち輝く未来社会のデザイン」



来場者にやさしい会場 メイン通りの間をつなぐ通りには水路や緑の並木を整備。



美しい景観 南西側を望む夕景の会場鳥瞰図。淡路島、明石海峡大橋を背景に、美しい景観が広がる。



場内イメージ図

資料提供:経済産業省

万博開催概要

- 開催期間 2025年5月3日(土)～11月3日(月) 185日間
- 開催場所 大阪 夢洲(ゆめしま)
- 想定来場者数 約2,800万人
- 経済波及効果(試算値) 約2兆円

開催地決定まで残り1か月!!

城東区住みます芸人 アンリミテッドプリパレーションとコスモちゃん

